

平成 24 年度 第 3 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 24 年 7 月 9 日(月) 14:00～16:30
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者：林委員長、中嶋委員、望月委員（スカイプ）、碓井委員（スカイプ）、
渡邊委員（スカイプ）、児島委員（スカイプ）
（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討事項 経済学教員の教育力について

検討に先立ち、事務局から今日の資料について説明があった。

前回までに「経済学教員に期待される学識」を 5 項目でまとめたが、今回は「教育改善モデル実現に求められる教育力」を、ほぼ同数の項目でまとめた。

初めに、ネット上で事前に提案された委員の案について、説明があった。次いで、その修正という形でネット上で提案された委員長の案について、説明があった。それらをたたき台として委員会で審議をしたが、事務局から「次のステップで FD の具体的な提案をするので、あまり抽象的なまとめ方ではなく、次につながる具体性を持ったまとめ方にするべきではないか」という指摘があった。そこで経済学教員に求められる教育力のポイントとして、教育目標や到達度の理解、教材作成能力、多様な授業方法の活用による能動的学習、経済合理性と公平性の倫理的要請、他分野や他大学との連携学習といった観点から、以下のように一層具体性を持った 5 項目にまとめた。

【2】教育改善モデル実現に求められる教育力

- ① 学部学科の教育目標に沿ったカリキュラムの全体像と当該授業の位置づけを明確にし、確認した上で、学生に到達度の評価指標を提示できること。
- ② 学びの意欲を高める教科書、問題集、コンテンツ等を多様なメディアで作成し、共有できること。
- ③ 予習・復習を徹底させ、授業でグループディスカッションやプレゼンテーションを通じて能動的な学習を展開できること。
- ④ 専門家や有識者を招き、経済の合理性と公平性のバランスを持てるよう対話型の授業ができること。
- ⑤ 他の専門家の参加、オープンコースウェアなどの利用や海外の大学との連携を通して、学生同士の意見交換を深め、知識を統合して、グローバル経済の実際に対応した授業を展開できること。

2. 今後の検討スケジュール

教育改善モデルを実施するために必要な教育力について、次回は以下の検討をするので、事前にネット上で提案をされたい。

【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

- (1) FD活動
- (2) 大学としての課題

次回の開催日程

日時：7月25日(水)14:00～16:00

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上